

別紙

職員共通認識事項

出勤時

- ・出勤前に自宅にて検温と体調確認を行い、微熱や体調不良があれば電話連絡をする。
- ・出勤時はマスクを着用し出勤する。
- ・静脈認証は外から回り、特養側の通路を通らない。
- ・出勤したら検温しチェックリストに記録する。微熱があれば、看護師に報告する。
- ・勤務中は消毒液を必ず形態する。
- ・室内は換気を行い、窓や入り口のドアを開放する。
- ・申し送り中は、マスクを装着しソーシャルディスタンスを保つ。

送迎時

- ・送迎中は窓を5cm開け換気をしながら走行する。
- ・利用者は必ずマスクを装着し検温後に乗車する。
- ・送迎後使用した車の消毒をする。担当：〇〇(各車の運転手)

苑到着後

- ・入室前にアルコールにて手指の消毒を④実施する。
- ・配席表に沿って席へ誘導する。体調不良時は、席へ案内する前に看護師報告する。
- ・送迎担当職員は、検温表に体温を記入する。
- ・微熱のある利用者は、手工芸側の席に誘導し他の利用者と隔離する。
- ・個室トイレ介助の際は、密室になるため15分以上は滞在しない。

朝体操

- ・朝の体操開始時利用者のマスク着用を声掛けし徹底する。
- ・体操開始時は窓を閉め、体操終了後に換気を行う。
- ・使用済のシャフト・フープ・セラバンドはかごに入れてプリュテックで拭いてから容器に戻す。担当：〇〇(各車の運転手)

入浴

- ・入浴誘導は利用者の体調確認が終わってから誘導を行う。
- ・浴室は窓を開け換気を行い、介助者はマスクを必ず着用し入浴介助を行う。フェイスシールドの使用は熱中症の危険性を考慮し個人の判断に任せる。
- ・更衣室の密を避けるため浴室は3ヶ所を使用する。(1度に2人まで)

食事・口腔ケア

- ・食事前はアルコールを使用し利用者の手指消毒を行う。
- ・食事介助・口腔ケアの知己は、マスクとフェイスシールドを着用し食事介助を行う。
- ・食事介助はストレッチャーと評価の担当が実施し、おやつまで一貫して実施する。

別紙 1

- ・評価はトイレ誘導があるため、食事が早く終わる利用者の介助に入る。
- ・ストレッチャー担当は後半に休憩に入る。
- ・食事介助が3人いる場合は、フロアの看護師が食事介助に入るが、昼薬の配薬があるため早く食事が終わる利用者の介助に入る。
- ・入浴パートの3人はストレッチャー担当には付けずに、口腔ケアの介助に回る。
- ・口腔ケアの際は正面に立たずに立ち位置を考えて介助を行う。
- ・口腔ケアの際待機者は2人までとし、間隔をあけて待機する。
- ・口腔ケア終了後は汚物を片づけてから次の利用者を案内する。
- ・使用済歯ブラシは1人ずつコップにミルトンを入れ1時間以上浸けてから片付ける。担当：朝体
- ・ミルトン液は当日の朝に用意する。(24 Hしか効果がないため)

午後の休憩時間

- ・休憩時間帯に臨検を実施する。
- ・マッサージ機使用中もマスクは必ず着用するよう説明する。
- ・マッサージ機、ウォーターベッドはその都度消毒を行う。
- ・職員の休憩は密を避け、他部署との接触にも気をつける。

午後

- ・午後のレクは密を避け動作が少なく、道具を使用しない物を行う。カラオケはNG
- ・おやつ前はアルコールにて利用者の手指消毒を実施する。

送迎後

- ・送迎終了後は全員でハイター消毒を実施する。
消毒実施場所：机、いす、手摺、シールドとスタンド、その他手が触れる場所全て